

よなご幸朋苑 インタビュー報告書

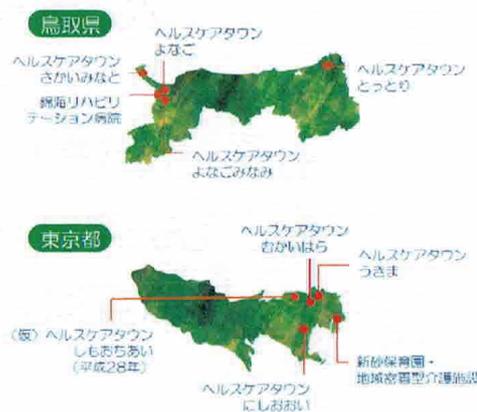
見学日時：2016年10月14日

お世話になった方：よなごエリア 総合施設長 高岡さま

見学参加者：金子，高瀬

■施設概要

こうほうえんではエリア制度という体制を独自に整えており、1エリアで米子地域に住んでいる約3万人の方をサポートする体制作りを行っている。その中でも、よなごエリアでは、グループホーム、介護老人福祉施設、ケアハウス、デイサービスセンター、訪問介護事業所、ケアプランセンター、24時間保育所、福祉用具販売など、多様なサービスを提供して地域の高齢者の方々を支えている。



この他、病院も含め11か所で事業が展開されている。

■地域概況

米子市の中心市街地にある米子駅から、車で15分ほどと少し離れたところに位置するが、JR線と県道が至近に走っており交通の便がよいところに立地している。周辺は閑静な住宅街で、展開している他の事業も近接しているため、地域間、事業所間での関わりが持ちやすいと考えられる。

■現在までの経緯や運営理念

開設当初は介護のみでスタートし、現在は保育や医療、障害者へのサービスも展開し今年で30年目を迎えた。境港市のニーズから法人設立が行われ、法人設立の値が小学校の隣地だったこともあり、地域住民と繋がった施設にしたいという考えのもと制度の隔てなく住民をサポートできる体制作りを常に考えている。また、社会福祉法人の役割は税金の免除があるため、見える形で住民の方へ返してしていくことが責任だと捉えており、日本初の24時間保育に取り組む等、積極的な運営を行っている。

**社会福祉法人に求められる地域公益活動**

平成26年度減免総額「144,332,000円」

地域の一員として 専門性の発揮

事業所資源(人材、設備等)・ケアのノウハウを地域に展開

**地域福祉の連携拠点**

地域包括支援センター

連携

(生活再編-QOLの拡大) 重度化対応・看取りケア・認知症ケア 終の棲家・在宅復帰

施設看護師とヘルパーとの連携 介護士による夜間オペレーター

よなご特養(74世帯) 短期入居(10世帯)

在宅で看取りまで対応できる体制

サービス付高住者住宅 アザレアコート(102世帯) デイサービス・レストラン・美容室・花屋

訪問看護・介護・リハビリ

ケアハウス(60世帯) ホームヘルパー 認知症対応型デイサービス

## ■地域での展開

地域総合支援室では高齢者だけでなく、障害者や移住定住の支援事業なども行っており、その活動が多種多様であることが窺える。また、こうほうえんでは地域で一緒に暮らそう会という協議会を開催しており、民生委員や自治会長など多様な職種、複数の自治会で集まって地域のニーズの汲み取りや地域にある課題解決の検討を共同で行い地域に住む方を支える取り組みを行っている。一方で、地域での活動においては事業所は主体的に動くのではなくバックアップ的に動く事を重視しており、住民自治の力を最大限発揮できるような地域整備を行っている。

### ■地域総合支援室 (法人本部)平成26年4月開設

- 実績(平成26年4月～平成28年3月)
- 「総合相談」「総合支援」 156件
- ・総合相談事業 14件
- ・就労支援事業 37件(就労の安定を目指し啓もうやマッチング事業所内業務の開拓などの支援)
- ・生活支援事業 15名
- ・学習支援事業 72名(延べ604名)
- ・刑余者触法者支援事業 2名
- ・移住定住者支援事業 7名
- ・介護離職対策事業(介護職員初任者研修事業 11名)
- ・大規模災害支援事業
- ・その他地域の要望により実施する事業

これまでにいただいた寄付 65件 1,967,138円  
地域総合支援室の活動資金は皆様からの寄付に支えられています

## ■現場での取り組み

- ・住民ボランティア…仕事終わりの方が18時頃から参加できるボランティアを開催している。その活動を通して、住民の方はヘルパーの資格を取ることができ、理解を得ると共に離職者を増やさないために活動している。
- ・基本ケアについて…起きる、食べる、排泄、清潔、アクティビティの5つの基本ケアを中心に、その人らしさを大切にする介護を行っている。特に排泄ケアを重点的に行っており、その人の尊厳を守ることでQOLの改善を図っている。また、入居者の生活のあり方を変え、生活を改善することが、介護のやりがいにつながる。

介護の支え手を育てる  
・・・介護業界をポピュラーに

オールジャパンケアコンテスト

出版社：介護男子スタディーズプロジェクト  
発行年：13 / 978-4-556-65200-9  
料金：2,160円

11

介護の支え手を育てる  
・・・住民ボランティアを増やす

住民主体のボランティア活動拠点

現在の担い手づくり (ボランティアへ)

地域住民を対象に「介護職員初任者研修」を開催(地元商工会議所と共催)

支え合う関係づくり

将来の担い手づくり (ボランティア、介護士へ)

介護の魅力を高校生に伝える出前授業

12

## ■地域連携について

多種多様な専門を持った施設の中で、地域福祉の連携拠点として特養が中心となって動いていくことが大切だと考えている。地域総合支援室や地域で一緒に暮らそう会の他に、子どもたちの学習支援の一環で島根と鳥取の医学部の学生にアルバイトとして授業を行ってもらう場の提供を行っている。レストランの場所も無償で提供しており、地域内の拠点づくりの場所を作っている。地域は地域の方で支え合っていくことが大切で、互助の関係づくりのための支援を中心に行っている。

事業所資源(人財、設備等)・ケアのノウハウを地域に展開

地域福祉の連携拠点

(生活再編・QOLの拡大)  
重度化対応・看取りケア・認知症ケア  
終の棲家・在宅復帰

施設看護師とヘルパーとの連携  
介護士による夜間オペレーター

地域包括支援センター

サービス付高住者住宅 アザレアコート (102世帯)  
デイサービス・レストラン・美容室・花屋

よなご特養 (74世帯)  
短期入居 (10世帯)

在宅で看取りまで対応できる体制

訪問看護・介護・リハビリ

ケアハウス (60世帯)  
ホームヘルパー  
認知症対応型デイサービス

## ■看取りへの考え方

地域住民の方と一緒に元気な時から要介護度5になるまでシームレスなトータルケアを目標としている。そのための取り組みとして地域住民との連携はもちろん、心の健康づくり相談会の開催やホットラインを設けるなどを行っている。また、在宅の方向けに、健康シート管理を作って自己チェックを行ってもらうことで、かかりつけ医との連携もしやすくなる工夫を行っている。このように、一言に「看取り」といってもそれまでの利用者の生活や様々な関わりがあったことを理解して、地域の方にも協力してもらいながら孤独死をさせないために多様な取り組みを展開している。

### 伴走型ケアマネジメント 在宅で暮らす高齢者の健康管理

- 要支援から要介護5までのシームレスな（継続的）ケアマネジメント
- マラソンの伴走者のように利用者の傍に
- サービス管理から健康管理へ
- サービス提供ネットワーク内での利用者の健康情報の共有、病気（慢性疾患）とつきあいながら生活の質をあげる
- トータルケアをベースにしたケアワーク  
基本ケア（水分、栄養、排泄、服薬管理等）

### 在宅で暮らす高齢者の健康管理シート

服薬

排便

一日の水分量

### 尊厳を支える看取りケア

生き切る  
QOL  
(Quality Of Life)

個の尊厳

安全・安心

基本的介護技術  
(起きる、食べる、排泄、清潔、アクティビティ)

ご利用者の日々の延長線上で最も尊厳が保たれ「ここで生きていて良かった」「良い人生だった」と思えること。

ご家族にとっては、「ここで看取られて良かった」と思えること。

超高齢社会・多死時代を迎えて  
施設の居室を利用したの看取り支援をはじめ、独居の方等への今後の関わり支援を・・・

### 尊厳を支える介護に求められる人財

暮らしの中に利用者の可能性を見出しそれを実現する能力を身に着けること

- 発想の転換：非効率の中の効率（身体拘束廃止）業務中心から利用者中心へ
- 人を理解しようとする限り広げられない仕事  
ご利用者・ご家族と深く向き合い素直に喜怒哀楽が表現できる「共に生きる」心を育てる（感性、思いやり）
- 人は死ぬまで成長し続ける。多くの可能性を秘めている。  
顧客がまだ気づいていない隠れたニーズを見出し根拠をもってサービスを提供する
- 人を理解する心と根拠に裏付けされた能力を持った職員が揃った時、初めて介護の質の向上に繋がる

## ■まとめ

この他に、こうほうえんでは、利用者の立場に立った介護を中心としている一方で、その生活を支える職員の方の生活もケアも同時に行っていると感じた。介護の質向上にはただ時間をかければよいということではなく、その人の生活を理解し、施設と地域、職員と利用者が同じ目標のもと支え合っていくことが求められている。そうした中で、こうほうえんの積極的な地域ニーズの汲み取りや解決のための取り組みは「地域を繋ぐ役割」として機能しており、連携の際にどのような拠点施設が必要なのか、またどのような運営を具体的にやっていくことが大切であるかを勉強することができた。